

給食だより



さいたま市立土呂中学校

令和7年6月 給食室

6月は彩の国ふるさと学校給食月間&環境月間です

環境月間とは



1972年6月5日にストックホルムで開催された『国連人間環境会議』を記念して、国連では6月5日を『世界環境デー』と決めました。日本では平成5年に制定された『環境基本法』で『環境の日』と定めています。環境月間は環境基本法が定められる前の平成3年から、6月の1か月間を『環境月間』とし、環境省が呼びかけて全国で様々な行事が行われるようになりました。

【SDGs（=持続可能な開発目標）】の中でも環境問題は多くを占めています。わたしたちの身近にある食の問題も環境問題とリンクしています。給食では6月を【彩の国ふるさと学校給食月間】として地場産物等を多く取り入れる取り組みをしています。これは、地場産物を多く取り入れることで、食品を輸送する距離が短くなり、輸送距離が長くなればその分、地球温暖化の原因でもあるCO₂を多く輩出してしまうため、住んでいる地域のもを取り入れることは環境に配慮しているといえます。

食と環境

～わたしたちに出来ること～

『食品ロスの削減』

- ①食べ残しをしない
- ②必要なものだけを買う
- ③お店の棚にある食品は手前からとる
- ④旬のものを買う
- ⑤残り物は捨てずにリメイクメニューに
- ⑥有機野菜で皮むきを大幅カット

食べ残しや、売れ残り、期限が近いなどさまざまな理由で、まだ食べられる食品が廃棄されることを食品ロスといいます。FAO（国際連合食糧農業機関）の報告によると、世界では食糧生産量の3分の1にあたる約13億トンの食糧が毎年廃棄されています。日本でも1年間に約612万トン（2017年度統計値）もの食糧が捨てられており、これは東京ドーム5杯分とほぼ同じ量。日本人1人当たり、お茶碗1杯のご飯の量が毎日捨てられている計算になります。



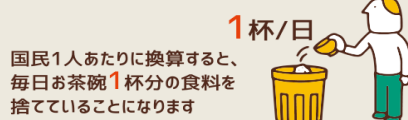
13億トン/年

世界では、
まだ食べられる食料が
13億トンも廃棄に



そのうち日本では、
約612万トン
廃棄している

612万トン/年



1杯/日

国民1人あたりに換算すると、
毎日お茶碗1杯分の食料を
捨てていることになります

参照：農林水産省HP

今月の生徒作成献立

◆6月19日（木）

◆3年4組 平川 有さん 作成献立

テーマ

『心も体もポカポカ
献立』

- ・麦ご飯
- ・牛乳
- ・小松菜としらすのふりかけ
※わかめふりかけから変更
- ・豚バラ大根
- ・煮ぼうとう
- ・ごま和え
※みかん削除

【献立作成する上で
工夫した点】

一日に必要な栄養素が全てしっかりととれるように意識しつつ色どりが良い献立を目指しました。また、ぼうとうをメインに考え、足りない栄養を補えるようにしました。

本人の設定した季節は冬だったのですが、梅雨の時期は肌寒い時もあり、また、埼玉の郷土料理の煮ぼうとうが彩の国ふるさと学校給食月間にピッタリと思い、6月の献立として採用しました。

平川さんの献立では、ふりかけが『わかめとしらす』だったのですが、小松菜を使った手作りふりかけに変更しました。ごま和えにも小松が使われていますが、地場産なので2つの料理で使用します。平川さんの献立ではみかんがついていたのですが、価格がオーバーしてしまい、つけられませんでした。（残念）

多くの食材が使われており、若干塩分が高めなもの栄養バランスはばっちりです！

豚バラを給食で使うのは初挑戦です☆
縮まないことを祈ります・・・

学校給食食材の産地と食品の検査結果について

さいたま市教育委員会
さいたま市立土呂中学校

～給食で使用している主な食材の産地～

本校の学校給食で使用している給食の主な食材は以下のとおりです。食材においては、流通経路を確認し、安全な食材を使用しています。

- 通年
主食の米や小麦粉は、(公財)埼玉県学校給食会が選定し、牛乳は県が供給業者を決め、各学校に届けられます。
これらは、市立小・中・特別支援学校で共通食材となっています。

		食材	産地
共通食材	主食	米	埼玉県
		小麦(パン・麺)	埼玉県、アメリカ、カナダ
	牛乳	牛乳	北海道、岩手県、宮城県、福島県(一部)、栃木県、群馬県、埼玉県、新潟県、秋田県、山形県

5月2日 ～ 5月30日

	食材	産地実績
青果類	里芋	薄田農園(さいたま市土呂町)
	小松菜	さいたま市
	長ねぎ	埼玉、茨城
	葉ねぎ	埼玉
	きゅうり	埼玉
	にんじん	埼玉、徳島
	玉ねぎ	埼玉、北海道、佐賀、千葉
	いんげん	北海道
	ごぼう	青森
	にんにく	青森
	えのき	新潟
	もやし	群馬
	エリンギ	長野
	セロリ	長野、福岡
	にら	栃木
	しめじ	茨城
	ピーマン	茨城
	大根	千葉
	小ねぎ	静岡
	きゃべつ	愛知、神奈川
	生姜	高知
	じゃが芋	鹿児島、長崎
	甘夏	熊本
肉類	豚肉	埼玉
	鶏肉	岩手、宮崎
	えび	インド、パキスタン
魚類	かつお	静岡
	あさり	中国
	鯖	ノルウェー
	ししゃも	ノルウェー、アイスランド
	いか	ペルー
その他	鶏卵	埼玉
	大豆	北海道
	白いんげん豆	北海道
	わかめ	鳴門
	干しいたけ	長崎、宮崎
	アーモンド	アメリカ、オーストラリア
	ひじき	大分、長崎
	もち米	国産
	きくらげ	九州
	たけのこ	国産

※調味料、加工食品等は記載しておりません。検収記録簿に記録しております。

～食品検査結果について～

○ 国による食品の放射性物質の新基準

放射性セシウム	一般食品	100Bq/kg
	飲料水	10Bq/kg
	牛乳	50Bq/kg

○ 埼玉県等における検査について

＜埼玉県の検査結果＞

5月19日現在

平成29年に国のガイドラインが大幅に改正され、埼玉県は「栽培/飼養管理が可能な品目群」(野菜、果樹、茶、きのこ類、原乳、畜産物、水産物(内水面魚種))欄の調査対象自治体から除外されることとなりました。
それにともない、平成28年度までは、県のホームページに調査結果がほぼ毎週公表されていましたが、平成29年度からは四半期毎(3か月に1度)に公表されることになりました。
したがって、埼玉県の検査結果については、県から公表があった月に結果を掲載いたします。
詳しくは、県のホームページをご覧ください。

＜(公財)埼玉県学校給食会の検査結果＞

5月19日現在

検査依頼日		品 目	検査結果	
月	日		放射性ヨウ素	放射性セシウム計
4	17	精白米(統一規格米)	<1.3	<3.9
4	22	小麦粉(パン・うどん用)	<1.7	<4.9
4	22	小麦粉(パン・ソフトめん用)	<1.8	<4.0
4	21	小麦粉(中華めん用)	<1.5	<4.0

※「<(数値)」とは、検査機器で測定できる検出限界値未満であることを示します。
詳しくは、(公財)埼玉県学校給食会のホームページをご覧ください。

＜牛乳の検査結果＞

5月19日現在

製造日		品 目	検査結果
月	日		放射性セシウム計
5	13	学校給食用牛乳(製品)	50Bq/kg以下

※測定下限値は50Bq/kgです。
※学校給食で使用される牛乳は、月1回、(財)日本乳業技術協会による製品検査を受けています。

○ さいたま市における検査について

本市では、市内農産物と市内に流通する市外産農産物等の検査を実施しています。
この検査では、生産段階及びそれに近いところで採取することにより、基準値を超える結果が出た場合には、直ちに出荷等を止めるなどの対応をとります。

＜さいたま市の検査結果＞

5月19日現在

採取日		品 目	検査結果		
月	日		放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
2	20	(神奈川県)だいこん	<1.42	<1.63	<3.1
2	20	(千葉県)さつまいも	<1.93	<1.83	<3.8
3	6	(茨城県)にら	<0.774	<1.36	<2.1
3	6	(千葉県)ねぎ	<1.93	<2.04	<4.0

※結果欄の「<(数値)」は、検出限界値です。詳しくは、さいたま市のホームページをご覧ください。
(単位はBq/kg)